社会福祉法人 え ど が わ

第１号議案

「社会福祉法人えどがわ」は、平成１４年３月、江戸川区内の全私立幼稚園及び全私立保育園の設置者及び園長により設立され、これまで培ってきた経験と英知を集結し、「養護・教育・子育て支援」の三本柱を中心とした施設運営を行っています。

これからも、江戸川区の子ども達の健やかな成長を目指すとともに、子ども一人一人の個性を尊重しながら、時代に相応しく、子どもを中心とした「おひさま保育園らしい保育スタイル」を確立していきます。

＊＊＊＊＊ 基 本 理 念 ＊＊＊＊＊

おひさま保育園は、養護と教育を一体的に行なう中、子ども一人一人を尊重しながら、生きる力の基礎を身につけ、地域に開かれた子育て支援を展開し、保育園としての社会的役割を果たしていきます。

【養　　護】

安全で快適な環境のもと、子どもの心をしっかりと受け止め、一人一人の発達に応じた適切な援助や関わりにより、豊かで健康な心と身体を育てます。

【教　　育】

身近な環境に関わりながら、子ども主体の多様な遊びや生活を通じて育みたい資質や能力を身につけ、小学校へのスムーズな移行を目指します。

【子育て支援】

すべての子育て家庭を対象に保育園の特性を生かし、地域や他機関との連携及び協働による相談や援助など、地域に開かれた子育て支援を展開します。

＝＝＝＝＝　基　本　方　針　＝＝＝＝＝

令和２年度、民営化による「宇喜田おひさま保育園」が開園し、運営施設は２３園となり、保育所を経営する社会福祉法人としては引続き全国的にも大規模な法人であります。

しかし、近年の保育士不足などの影響を受け、平成１９年より延２０園にわたって行ってきた区立保育園の民営化を休止せざるを得ない状況となり、法人として誠に遺憾と考えております。

そのため、今年度を運営体制の立て直し期間と捉え、講じられる様々な対策を「おひさま園長会」が一体となって考え、選択・決定し、法人職員が一丸となって、その課題解決に取組んでまいります。

これからも、安定的な運営の基盤である人材と財政の両面にわたった強化を図り、江戸川区民の期待に応えられる運営を行ってまいります。

また、今日的で多様な保育ニーズに応えるとともに、一人一人の子どもを中心とした、それぞれの子どもの発達過程に応じた丁寧な保育を実践することで、更なる保護者の信用と信頼を獲得する所存です。

保育は養護と教育を一体的に行うことをその特性とし、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものであり、量の拡大だけでなく、その質の確保と向上を図ることが、いま強く求められております。

厚生労働省で平成 30 年５月より実施されてきた「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」において、下記のとおり「議論のとりまとめ」が示されたところです。

当法人として、この「議論のとりまとめ」や「保育所における自己評価ガイドライン(2020 年改訂版)」を活用し、各園の特性を活かしながらも「おひさま保育園」らしい保育の標準化の確立を目指してまいります。

議　論　の　と　り　ま　と　め　　【概要版抜粋】

１．保育所等における保育の質の基本的な考え方

・我が国の保育所保育の特色
（遊びの重視･一人一人に応じた関わりや配慮･子ども相互の育ち合い等）
・保育の現場において求められていること
（保育所保育指針の理解と実践･職員間の連携･協働やマネジメント等）

〇保育の質は、子どもが得られる経験の豊かさと、それを支える保育の実践や人的・物的環境など、多層的で多様な要素により成り立つ。

２．保育実践の質の確保・向上に向けた取組のあり方

〇保育の質の確保・向上に向けた取組が実効性あるものとなるよう、関係者が共通理解を持って主体的・継続的・協同的に改善・充実を図ることが重要。

① 保育所保育指針を共通の基盤とした取組
② 組織及び地域全体での取組
③ 多様な視点を得る「開かれた」取組
④ 地域における支援人材の確保・育成
⑤ 地域の取組と全国的な取組の連動

３．今　後　の　展　望

〇国や地方において、以下の取組を行うことが重要。

① 保育所保育に関する理解を広く促進するための周知・啓発
② 「保育所における自己評価ガイドライン」に基づく保育内容等の評価の充実
③ 地域におけるネットワークの構築推進
④ キャリアアップ研修等、保育士等の資質・専門性向上に機会の確保・充実
⑤ 関係者間の情報共有・意見交換の場づくり

中　長　期　的　計　画

職員の資質向上と働き方の改革

・「求められる職員像」を目指した職層別研修の実施
・職場の活性化と職員のやる気の向上
・誰もが「働きやすく」「働き続けたい」と思える職場づくり
・ＩＣＴの積極的活用と効果の測定

健全財政の堅持

・公定価格等の動向や施設改修などを見極めた財政（中長期）計画の策定
・大規模法人としてのスケールメリットを活かした業務執行
・ＩＣＴ化、業務改善による事務事業の適正化と効率化

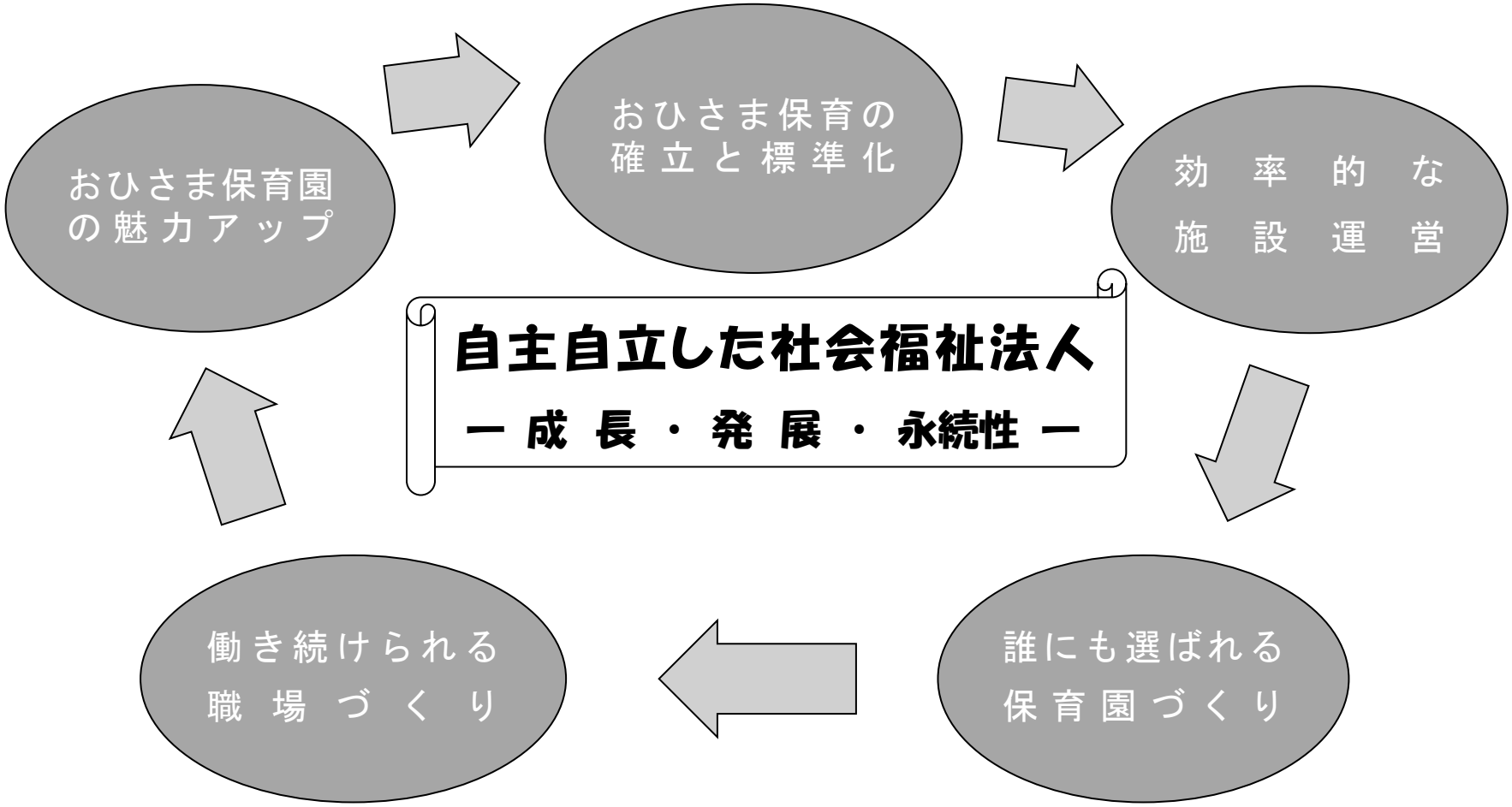
適正な施設の維持管理

・老朽化施設等への対応（建替え、改修など区との協議）
・安全で安心な施設づくり

社会的課題や法人の課題への対応（法人部会の活用）

・社会的課題への対応（発達障害、児童虐待、要支援家庭など）
・おひさま保育園の標準化
・おひさま保育園らしい保育と質の向上
・法人組織力の強化など

社会福祉法人えどがわ事業実施計画(案)



具体的な取組み方法

〇おひさま保育の確立と標準化

・保育指針に沿った、子どもを主体とした発達過程に応じた保育の推進
・卒園までに育みたい能力を意識した保育実践と小学校への円滑な接続
・おひさま保育園らしい保育のあり方研究とその実践　　※行事のあり方検討
・子どもにとっての視点を基本とした保育の可視化･言語化と保育の継承
・子どもの健康支援と「食を営む力」(食育)の育成

〇効率的な施設運営

・おひさまネットワークを活用した情報共有と事務事業の効率化
・ドキュメンテーション管理の研究とペーパレス化(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化･ｵﾝﾗｲﾝ化の研究)
・おひさまＩＣＴの評価によるシステム再構築
・勤怠、給与、会計システムの連動による事務の適正化と効率化
・予算の単位費用化などによる内部統制の強化と予算執行管理の適正化

〇誰にも選ばれる保育園づくり

・情報発信の充実(園内情報や求人情報の積極的発信)　※動画の有効活用
・地域に拓かれた保育園づくり(子育てひろばの充実、地域行事への積極的参加など)

〇働き続けられる職場づくり

・各園の環境や体制に応じた働きやすい職場づくりの推進
・事務負担の軽減対策(現金処理の検討、書類の標準化とシステム化など)
・職員健康管理の充実とストレスチェックの継続
・キャリアパスに繋がる研修と適正な昇給と公平な昇任選考の実施
・適正な予算執行と資金管理による健全財政の堅持
・現場職員の声を聞く機会の設定

〇おひさま保育園の魅力アップ

・外部へ向けた積極的な情報発信(広報板の活用、地域との繋がり事業など)
・おひさま保育園の特徴づけ強化(魅力アップ戦略会議など)

おひさま園長会　運 営 基 本 方 針（案）

私達は、子どもの笑顔、保護者の笑顔、保育士の笑顔を守るために以下の基礎的事項を整えていく。

目指す方向	・運営理念を一つにし、組織力を結集した「おひさまらしい保育運営」が将来にわたって継承される社会福祉法人
おひさま保育園園長会の目的	・実行力のある組織を目指す
目的を達成するための目標	・「社会福祉法人えどがわ」の一員として組織力の強化と向上のために個々の能力を結集する ・意思決定までのプロセスを大切にし、決定したことに各自が責任を持って取り組む　※皆で決めたことは、皆で守る

	項 目	策定計画	目標内容	具 体 的 な 内 容
基礎的事項	人 材	採用計画	民営化と一時保育の再開を目指す	・養成校との連携を深め、実習生、アルバイト学生からの就職に繋げれるように、受け入れ側の意識を変える。 ・人事に可能な範囲で、希望配属を行う。 ・見学会、紹介制度の継続。 ・実習生対応マニュアルの作成（実習から就職へ） ・SNS等就職に繋がるページの作成。 ・採用版ホームページの作成。 ・職員が自分の保育園を誇れるような運営を目指し、就職あっせんを行う。
		育成計画	職員を育てる	・法人としての育成計画の作成。 ・職層に合わせた法人独自のオンライン研修を整備する。 ・ 職層の魅力を伝えられるような研修。（初級、上級、副主任、主任、副園長） ・メンター制度を確立するために、研修を行う。 ・各保育園で、職員の育成計画を立てる。（法人で一括管理）
		離職防止計画	離職率7%以下を目指す	・退職の原因を探り現状の把握をする。（何に満足して、何に不満を感じているのか） ・職員の適正評価や賞賛出来る制度を創設する。 ・入職後のコミュニティーづくり。 ・新規採用職員及び異動者に対し、初日からの継続的なのフォロー。
	備品及び施設整備	契約内容見直し	標準化する	・実績とコストを基に評価を行い、各種業者の契約内容を確認し、適正な選定をする。（メンテナンスも含む） ・契約内容の把握と確実な遂行。
		備品の統一		・法人契約業者での購入の徹底 ・施設整備の標準化（おひさまスタンダードを作り上げる）
	予 算	収入と執行管理	適 正 化	・行事の見直し ・他園（おひさま保育園同士）と照合し、予算、執行について標準化、適正化する。 ・定期的な勉強会の実施

令和3年度　　葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

開園して20年目を迎え、「三つ子の魂百まで」ということわざがある様に、乳幼児期の生活が重要であり子どもが育つ環境や経験はとても大切であります。私たちは、子どもたちが主体的に関わり、共に楽しむことで子ども達が生き生きと輝けるよう、各職層のスキルアップになるよう計画をし実行をしたい。
それに伴い、保育士一人一人がやりがいを見つけられるようにする。また、相手を認め、助け合えるチームであり、共に長く働ける職場を目指す。
予算管理については計画性を持ち、執行していくよう心掛ける。子ども達、保護者、職員にとっても、居心地の良いおひさまのような温かい保育園になるよう努力する。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20	24	28	35	33	140
運用定員	20	24	28	35	33	140
増 人 数	0	0	0	0	0	0

3. 保育園目標

・明るく、健康で、挨拶がはきはきできる子
・思いやりのある優しい心を育む
・感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子
・心身の発達を見守りながら身体機能の発育を目指す

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	一人一人の子どもの気持ちを大切に受け止め、個々の思いに共感し、安全で快適に生活できるよう環境を整える。 基本的な生活習慣を身に付け、身の回りの事を自分で行えるようにする。 安全対策の見直しとして緊急事態の対応、BCPの再検討、感染症対策に意識を高める。	通年	生活リズムが整い、安定した園生活を送れる。 丁寧な保育を行い、保育の質の向上を目指す。 危機管理意識を高め、職員全員の基準を一定になるよう意識を向上し安全な環境を提供。
教育	子どもが主体的に遊べる環境を整え、自発的に活動出来るように育む。 和太鼓、英語、リトミックを日常の保育に取り入れ、講師と保育士が一体となり活動する。 コロナウィルス感染症拡大防止の為、なるべく子ども達が主体的に関われるように工夫し、密にならないよう行事の取り組みを行う。	通年	保育室の玩具等の環境を見直し、整理整頓を心掛ける事により、子どもたちの遊ぶ力やチャレンジする力が増え自信に繋がる。 自己表現する楽しさを知る。
子育て支援	保護者とのコミュニケーションを大切にし、情報を共有していく。コロナ禍であるが、気軽に面談できる雰囲気を作り迅速に、子どもの状況や悩みを察知し、悩みに共感した支援を行う。 ホームページやブログを使い、地域の子育て家庭や利用者の方々に魅力のある保育園になるよう努める。	通年	日々コミュニケーションを取ることにより、保護者との信頼関係を築き、子どもの成長を喜び合う関係になる。 情報を発信し入園希望増加に繋げていく。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員間の雰囲気も明るく、関係が良好、楽しくやりがいを持ち働ける。行事等を行う際の協力もあるが、スキルの差が大きい。計画性なく行き当たりばったりな対応や、新しい取り組みをする時等、想像力ないのが弱みである。リーダー層を中心に丁寧な育成の強化が必要である。	おひさま保育園の標準化を図ると共に、長く働ける職場を目指してたい。会議等で職員の意見に耳を傾け、課題に早急に対応していくよう努力する。 子ども一人一人の主体性を尊重した保育が実践していけるよう、各層の育成計画を作成しスキルアップを図りたい。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
2階幼児トイレ	トイレの改修工事(床・扉・手洗い場)	¥2,630
1階洗濯場等	天井のカビ　1、2歳クラス水漏れ修繕	¥2,120
2階の網戸	網戸の枠・網戸の設置工事(4歳・5歳)	¥960

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
共有遊具	ホールの共有遊具	¥300
園庭遊具	経年劣化の為園庭遊具の入れ替え	¥150
保育玩具	各クラス老朽化	¥350

令和3年度　　新堀 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

職員の子どもの対する想いが、保育の展開と職員の円滑な人間関係に繋がるよう、職員一人一人の想いに寄り添い保育環境を引き続き整えていきたい。
また、環境面だけでなく、保育士自身もより一層、子ども一人一人の気持ちを大切にし、丁寧な保育や声掛けを心掛け『保育の質』の向上に繋げていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20	23	23	23	23	112
運用定員	20	23	22	22	19	106
増 人 数	0	0	1	1	4	6

3. 保育園目標

・健康で明るく元気な子
・感性豊かで自分を表現できる子
・思いやりのある優しい子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	保育室の環境を整え一人一人の子どもたちが、安全に快適に過ごせるようにする。 子どもの気持ちを受け止め、個々の発達に応じた働きかけをする。	通年	安心に生活、遊びをすることで豊かな心と身体が育まれる。 受け止められることで、自己肯定感が育まれる。
教育	保育室の環境を整えることで、子どもたちが自ら気付き、考え主体的に活動出来るようにする。 子ども主体の、多様な遊び、生活を通して友達との関わりを豊かにしていく。	通年	自信が付くことで何でも挑戦しようとする気持ちと、何かが出来た喜びを感じる。 自分の気持ちを、友達と折り合いをつけながら自律心が養われる。
子育て支援	子どもたちの育ちを家庭と連携し、一緒に支援していく。 コロナ禍にあり、保育所体験や子育て広場など、開催は難しいが様々な形で地域や他機関と連携を図っていく。	通年	子ども達の話を通して、コミュニケーションを図り、育ちを一緒に考え共有できる。 他機関と連携を図り様々な情報を得る。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
大幅な職員の入れ替えがあり、各園での業務のやり方や取り組み方が異なる職員が集まる中、自園をより良い方向へと考え、連携をはかり日々の保育・環境・行事など見直すことが出来る。 繋がりが強くなる分、慣れ過ぎてしまう場面も出てきている。	自園をより良くする為、職員の多種多様な考えを今後も引き出し皆で考え、保育運営を行っていきたい。また節度のある人間関係を保ち、『チーム』として業務にあたる。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
地下倉庫	下水ポンプ取り換え	¥120
保育室・トイレ	手洗い場	¥3,000

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
音響機材	運動会用音響機材　運動会前に購入	¥1,000
保育室玩具棚	各保育室玩具収納用棚	¥500

令和3年度　東小松川 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

一人一人の子どもに寄り添い年齢に応じ心豊かに保育を目指すと共に、職員がチームワーク良く相手の事を思い込めるよう各リーダーの働きかけ、指導・助言をしっかり考え人材育成を行う。
子ども中心の保育を考え自分の子どもが、この保育園に入れたいと思えるような保育園作りを目指す。職員の得意分野を発揮し、やりがいやお互いを認め合える仲間作りを行う。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	12	18	22	24	24	100
運用定員	17	22	23	24	24	110
増 人 数	5	4	1	0	0	10

3. 保育園目標

・明るく、健康で、挨拶がはきはきできる子
・思いやりのある優しい心を育む
・感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子
・心身の発達を見守りながら、心身機能の発達を目指す

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	子どもの気持ちや行動、発達を受け止め一人ひとりに合わせ丁寧な関わりを通して自己肯定感を育てる。 危機管理を意識して安心して遊べる環境やヒヤリハットを活用し事故防止に努めると共に感染症の意識を高め集団感染とならないように努める。	通年	優しい丁寧な保育、一人一人に向き合う事で、子どもが落ち着き、自己肯定感が育つ。 安全対策の強化と意識の向上。
教育	子ども一人ひとりが、主体的に生活や活動出来るよう、保育士全員が計画をたて進める。 子ども達が夢中になり遊び込める環境を整え、発見や感動した事等を温かく見守る。 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識し保育活動に生かす。	通年	環境の大切さや子どもの遊びこむ力の大きさに気づき、10の姿に近づくような保育活動の見直しが出来る。
子育て支援	保護者が安心して子どもを預けることが出来る関係を築く。 保護者の思い等を聞き、成長する姿に共感し悩み等に気づき、アドバイスが出来る関係作りを行う。発達上問題がある子どもの支援を要する家庭への対応を丁寧に行う。	通年	保護者とのコミュニケーションを図ることで信頼関係が出来る。 保育園での援助の理解が得られる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
強み・・園舎や園庭や二階の遊戯室等が広く伸び伸び環境は良い。 環境を生かした保育活動 弱み・・民営化14年と園舎等50年が過ぎ改修しなければならない所や備品交換の時期に来ている。保育計画の遂行	保育の計画から実行、反省、改善、継続と徐々に取り組んでいる。 昨年に引き続き開園14年が立ち備品等の交換、改修工事が必要

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
緑道側通路	公園の桜の根が張り敷石が盛り上がり危険な為	¥600
各トイレ	ホット便座取り付け	¥500

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
大型ごみストッカー	新学期	¥150
ジョイント砂場	新学期	¥200

令和3年度　　鹿骨 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

引き続きコロナウィルス対応となることを想定し、新しい生活様式を基本に園運営を行っていく。集団での活動は制限せざるを得ないことで、発達に合わせて行事はクラスごとに楽しむ。異年齢の交流は直接的には出来ないが、ソーシャルディスタンスをとりながら他クラスの活動を見る機会を設け、刺激しあう。コロナ禍が、極力子どもたちにとって不利益にならないよう、保育者間で十分に話し合い、子どもたちの成長を援助出来る保育を行うために、保育者同士のコミュニケーションが良好でなくてはならない。一人ひとりが専門職としてふさわしい関係が出来るよう、保育園全体で取り組んでいきたい。保育については指針を基に進め、手ごたえを感じている面もあり、引き続き、園内研修等を充実し、質の高い保育を目指していく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	26	28	31	32	33	150
運用定員	28	28	30	29	26	141
増 人 数	-2	0	1	3	7	9

3. 保育園目標

・健康で元気に遊べる子
・豊かな心育み素直に表現出来る子
・友達を大切にし、何事も協力出来る子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	子どもの人権を守り、子どもが健やかに過ごせる衛生的で安心して遊べる環境を提供する。 応答的な関わりをしてくれる大人が身近にいることで、子どもは人への信頼感を持つとともに、自己肯定感が育まれる。子どもの成長に影響を及ぼす乳幼児期に関わる保育者がそのことをしっかり自覚して保育をする。	通年	気持ちよく、安心して生活出来る。 人への信頼感を持ち、順調に発達する。 自分の気持ちを素直に表現出来る。 自己肯定感が育つ。
教育	子どもの発達を把握し、子ども自らが遊び込める環境を提供するよう努力する。 自然事象等に子どもが気づき、興味関心が持てるようにする。 講師による「英語遊び」「体育遊び」も子どもたちが楽しめる内容になるよう、保育者と講師で一緒に考え提供する。	通年	子どもが自信を持ち、チャレンジする意欲が育つ。 子どもの情緒が発達し、のびやかな心に育つ。 専門的な指導を受けることで遊びの幅が広がる。
子育て支援	保護者との信頼関係を構築する。 コロナ禍で保護者の参加が少なくても、日ごろから保育や子どもの様子が分かるように可視化に力を入れ、共に子どもの成長を具体的に喜べるようにする。 地域の子育ての拠点となるように的確な情報を発信する。	通年	保護者が安心して子どもを預ける。 我が子の様子が分かることで保育に対する理解度が増す。保育者との関わりも深みが増す。 地域の方が的確な情報を得ることが出来る。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
多様な意見の保護者が多い中、職員は明るく、丁寧に保護者対応を行っている。家庭からの影響で問題行動を起こす子が多いが、丁寧に関われるように、職員間で話し合い連携し援助出来ている事は強みである。弱みは、自己主張が強く、チームとして保育以外のことに対して無関心な者が多い。	発達巡回指導時に、職員が根気良く丁寧に対応していることを褒められ、引き続き問題を抱えている家庭、子どもの援助をしていく。職員の明るく、保育に対する前向きな点は大いに評価する。「チーム」としての自分の役割や気づきを持てるようにホスピタリティを持った福祉の専門家としてプライドを持てるように育てたい。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
3歳児保育室等	新年度早々壁面にパネルを貼る	¥200
エアコンの更新	大型エアコンの更新(3台)	¥2,630

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

令和3年度　北葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

保育園に関わる全ての人(子ども・保護者・職員)が、居心地が良く、安心して過ごすことが出来る場所でありたいと思う。その為に今すべきことは何かを考え、実践する。
恵まれた広い環境を活かした遊びの工夫や、各保育室の環境設定の充実に取り組み、子ども達一人一人をしっかりと見つめ、丁寧な関りを大切にしていきたい。
職員はそれぞれの力が発揮できるよう、互いに認め合い、楽しみながら保育に取り組んでほしい。「子ども達のために」を一番に考え、共に高め合っていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	24	27	31	31	31	144
運用定員	24	27	30	31	31	143
増人数	0	0	1	0	0	1

3. 保育園目標

・明るく元気な子
・あたたかい心、やさしい心を育てる
・豊かな表現活動と創造力を養う

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	新しい生活様式を取り入れながら、安全・安心な園生活が送れるよう取り組む。 子どもの気持ちに寄り添い、受け止め、自分らしさが表現できるよう、個々に丁寧に向き合う。 一人一人を大切に、愛情深く接し、自己肯定感が高まるよう心掛ける。	通年	感染症対策の充実と、子ども達の健やかな成長の確保を行うことで、子ども一人一人との信頼関係が深まる。自己表現を認めてもらうことで、自信へと繋がる。
教育	じっくりと遊び込める環境を作り、集中力やチャレンジする気持ちを育てる。年齢や子ども達の興味に合わせた環境設定を行い、子どもが自発的、意欲的に関わることが出来るよう工夫する。 子どもの主体性を尊重した保育への学びを深める。	通年	子ども達の遊びが充実し、個々の成長と共に、クラス全体が落ち着く。 職員の意識と保育力の向上。
子育て支援	家庭との連絡を密にし、共に子どもと向き合い、子育てのサポートをしていく。保護者の悩み等を共有し、専門性を活かした支援を行う。 地域に向けて、状況に合わせた支援を工夫する。	通年	保護者との繋がりが太くなり、相互での子どもへの理解が深まる。 子どもの姿を認め、子育ての楽しさがより味わえるようになる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
配慮が必要な子ども達への対応が、丁寧に出来る。 若い職員が多く、子どもと同じ目線で遊び、関わることが出来る。 保護者の立場で考え、配慮、対応出来る職員が少ない。 見通しを持った保育が出来てないところがある。	職員のコミュニケーションを大切にし、互いに尊重し合い、働きやすい職場作りをしていく。 園内研修や会議等で学びの場を設け、気づきに繋げていく。 他クラスの状況が共有しやすい環境作りをする。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
園児用机	経年劣化の為、更新	¥1,000
昼寝用ゴザ	経年劣化の為、更新	¥200
折り畳みリヤカー	災害時の運搬用	¥150

令和3年度　葛西第二 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

長い時間を過ごす保育園が、一人一人にとって居心地のよい場所であってほしい。好きな事を存分に楽しめる場所であること。生活を通して沢山の事を学べる場所であること。自分自身を存分に出し、伸び伸びと過ごせる場所であること。その手助けをする保育士にとっても保育園が居心地の良い職場でなくてはならない。
様々な角度から保育を考え、真摯に子どもと向き合える風土、子どもも職員も主体的に行動することを楽しめる環境を作りたい。
子ども、保護者、職員が安心、安全である保育園を築きたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	21	24	26	26	27	124
運用定員	21	24	25	25	25	120
増 人 数	0	0	1	1	2	4

3. 保育園目標

・明るく健康で元気な子
・思いやりのあるあたたかくやさしい子
・自己主張ができ、最後までがんばる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	一人一人の子どもが健康で安全に、快適な生活が送れるようにする。 保健面や安全面に関して十分な配慮をする。 一人一人の子どもの気持ちを受容し、継続的な信頼関係を築いていく。	通年	保育士との関係を、拠りどころにしながら周囲の環境に対する、興味や関心が高まり、活動の幅を広げることができるようになる。
教育	子どもの発達に即した、主体的な遊びや生活を展開していく。 子どもの活動の中に学びがあふれている事を大人が意識して環境を保障してく。 講師と職員が一体となり英語、体育、リズムあそびを行っていく。	通年	心身ともに健やかに成長する。 様々な場面で、多様な経験を重ねることができる。 保育士の学び合いが生まれる。
子育て支援	保護者と連携して育ちを支えあう関係を築く。 日常の送迎時の対話、行事を通し、子育ての喜びを感じられるように努める。 養育環境や発達上の課題等は、関係機関との連携を図り個別支援を行う。 保育園の特性を生かした地域子育て支援を行なっていく。	通年	保護者が子育てに自信を持ち子育てが楽しいと思えるようになる。 地域での子育ての孤立を防ぎ、子育ての不安を和らげる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員同士風通しが良く、昼礼を軸に日常の様子や悩みを共有できている。様々な場面で、皆で考えるという思いが職員に浸透している。誰かがやるのではなく、自ら行動しようとする主体性が望まれる。リーダーとなる存在の育成が課題。	様々な事柄を他人事ではなく、自分の事として考える姿勢を持ち職員で課題をみつけ解決していく現在の風土、子ども一人一人と丁寧に向き合う姿勢を大切に継続したい。保育園の中での自分の役割を自覚し、仕事に対し主体性をもって取り組めるようにしていきたい。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
1F廊下	エアコン、エアカーテンの設置	¥1,450

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
保育室棚	新学期、各クラスで老朽化更新	¥350
2歳児　テーブル	劣化の為更新	¥120

令和3年度　　春江 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

職員の保育に対する熱意や考えを伝え合い、相互理解と学びに向かう姿勢を大切に、保育士自らが成長できる環境を整え、組織力を高めたい。
保育士が、子どもの気づきをキャッチする力を培っていく事が、子ども一人ひとりを大切にする保育に繋がると考える。また子どもが自分で考え、工夫し行動することができる経験を積み重ねていける生活が必要であり、少しでも実践に近づけていけるよう考えていきたい。
「保育園が楽しい」「毎日が楽しい」と職員も子どもも言える保育園でありたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	24	27	34	36	36	157
運用定員	24	27	30	33	33	147
増 人 数	0	0	4	3	3	10

3. 保育園目標

・心身ともに健康な子
・自分を表現できる子
・友達を大切にできる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	子どもが安心でき、自信をもって生活出来るような環境を整えていく。 日々の活動を通した体験から、相手への思いやりや友達と協力することの意味や必要性を知る。	通年	健康で安定した生活を基に、自分の気持ちを安心して表し、自己肯定感が育まれ、主体的な生活が出来るようになる。伝え合う喜びを味わい、人と関わる力が養われる。
教育	子どもの気づきに共感し、子ども自身が遊びを工夫し楽しむ力を培っていく。 自ら考え行動しようとする意欲を育んでいく。	通年	伝え合う喜びを味わい、人と関わる力が養われる。 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組み、不思議さに気づく。
子育て支援	登降園時の保護者とのやり取りを通して、子どもの成長や子育ての喜びを共有していく。 様々な媒体をとおして、日々の生活の様子を発信し、保育園理解に繋げ安心して預けてもらえる様努める。	通年	保護者との相互理解が図られる。 保護者の子育てを実践していく力の向上。

保育園の強みと弱み	継続と改善
近隣の学校や地域の商店の理解と協力体制があり、子ども達を地域と一体に見守っている関係がある。広い園庭があり、使用の機会も確保でき、戸外で思いっきり体を動かし遊べる環境がある。遊具に触れる機会も多く、体作りに繋がっている。	戸外での遊びの時間は多く得られていると思えるが、その内容や環境の振り返りがクラス毎に差があり、保育士の個々の能力に任されている部分が大きいと思える。子どもの成長を確認する上でも、保育を客観的に観て振り返る事を繰り返し行い、保育をみんなで考える土壌を確立していきたい。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
砂場	砂場パーゴラ改修	¥650
引き戸交換	戸が重く開閉しずらい　5, 6月	¥550

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
ピクチャーレール	作品を飾るために全クラスに設置　4月	¥100

令和3年度　東小岩 おひさま保育園 事業計画(案)

1. 管理者の思い

「子どもの思いを大切にする保育」、子どもを中心とした保育を行うことで、子どもや保護者の背景に寄り添い、チームとして保育を進めていく。またチーム保育を確立する為に、職員間で相手の強み、弱みを受け入れ、強みは自己発揮することでチームの力となり、弱みは皆で助け合い補うことで改善へと導いていく。そうした相互関係により信頼関係を築き、保育は大変なこともあるが、楽しい仕事であり、自己発揮が出来る職場であるという意欲や充実感に繋げていく。
おひさま園長会を中心に、法人理念に基づき、法人としてどのように取り組んでいけばよいかを考え、積極的に意見をのべる。また自分の意見だけでなく、他者の思いや背景にも十分留意していく。おひさま園長会で決定したことは実行し、子どもの笑顔、保護者の笑顔、保育士の笑顔を守るために遂行していく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	17	20	24	26	26	113
運用定員	19	21	23	24	26	113
増人数	-2	-1	1	2	0	0

・明るく元気に遊ぶ子
・思いやりのある優しい子
・自分の思いや考えを表現できる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	乳児期からの「丁寧な保育」を大切にする。子どもの目線に合わせて話す、話を聞く等、その子のこころもちを大事にしながら、安心感の輪の中で見守られる保育。 発達の筋道を見通し、子どもが生活の中で経験することを、一人一人の発達段階に合わせ、認め、見守り、励まし、手伝い、共感する保育。	通年	「丁寧な保育」を実践することで、子ども達を行動だけで見るのではなく、その「こころもち」を考え、対応することで、非認知能力を育み、子どもの心身の成長に繋がる。
教育	子どもの主体性を大切に、遊びを通して様々な経験をし、認知的、非認知的能力を育てていく。また遊びは固定された遊びではなく、子どもの発達や子どもが興味、関心を持って自主的、自発的に活動する姿を大切に出来るような環境を設定する。そして、遊びを通して創造し、展開していくような働きかけをしていく。	通年	子どもの主体性を大切にすることで、子どもがどんな気持ちで何を考えているかを知ろうとすることで、求めている事、子どもに必要な援助や関わりが出来、遊びを通して育つ力がつく。
子育て支援	保護者と共に、子ども達の成長を共育出来るよう、保護者の悩みに寄り添い、保護者の表面だけを捉えるのではなく、背景を考え、保護者と共にを考え支援していく。 地域に開かれた保育園であること。未就園児の保護者が抱える悩みにも寄り添えるよう子育てひろばや育児支援を通して、相談や安心出来る場所であることを大切にする。	通年	保護者の背景を考えずに対応してしまうと、時には相手を責めるだけの言葉になる可能性がある。背景を含めて受け止めることで、相手への正しい理解や相手との信頼関係に繋がる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
子どもの育ちを共有し、課題のある児も会議等で情報共有し、クラスの事と捉えず園全体で対応。父母会が協力的で、保護者と連携が出来る点が強みである。 スキルアップに挑戦する自信。職層があがる為の魅力を持ち合わせていても、自信を身に付けるまでに時間を要する傾向があることが弱みである。	子どもを中心とし、一人一人の心もちを今後も大切にする。それは子どもとの関係だけでなく、保護者、職員間においても引き続き実践していく。 職層に魅力を感じられるよう個々の役割を明確にし、園内外研修等を活用し意欲に繋げる。副主任選考も自ら挑戦したいと思えるようバックアップする。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
すみれ組	6月エアコン不具合(定期点検による予測)	¥500
ひまわり組	6月エアコン不具合(定期点検による予測)	¥500
つぼみ組	床暖房	¥8,000

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
乳児保育室用棚	部屋の空間の仕切り棚	¥500

令和3年度　西篠崎 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

令和2年度に引き続き、コロナ禍の中での保育園運営となるが、まだまだこの先どうなるかわからない。だが、保育園はなくなる事などないので、何年かかるかわからないが、おひさま園長会で決定していく新しい生活様式を取り入れながら、感染予防をしながら運営していく。
また、働きやすい職場環境をつくり、保育士として継続勤務出来るよう、職員の家庭の都合等により出勤できない状況があっても継続して職員として勤務できるよう全員でカバーしていける「おたがいさま」の気持ちを持った職場にしていく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20	23	25	26	26	120
運用定員	20	23	25	26	26	120
増 人 数	0	0	0	0	0	0

3. 保育園目標

・元気にあいさつができる子
・思いやりのある子
・感性豊かな子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	子ども一人一人が尊重される保育を行う。具体的には、子どもの声を聞き、気持ちや欲求を受け止めていく。 新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、子ども達の安全確保と衛生管理を行い、保育室の環境設定を継続して見直す。	通年	保育士からの愛情を受け、子どもが心身ともに成長する。 環境設定を見直す事により、子ども達がのびのび過ごせるようになる。
教育	あそびや散歩を通してルールを学んでいく。環境に恵まれた篠崎地区では、豊かな自然環境を生かした保育を実践する。 室内あそびでは、年齢に合わせた玩具を職員で検討し、あそびを通して人間関係を養っていく。	通年	身近な自然や植物に興味を持ち、制作等に活用する事ができる。あそびを通しての友達との関わりや体験を通して生きる力を身につけていく。
子育て支援	日常の保護者とのコミュニケーションを大切にし、子どもの発達に基づいたクラスの様子を伝えていく。職員間の連携を大事にし、降園時には、子どもの様子をきちんと伝える事を徹底する。	通年	保護者と保育園が内容を共有する事により、信頼を得、安心感をもちながら園生活を送ってもらい、保護者と一緒に子育てをしていく。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員同士の連携は徐々に深まっており、表面上の共通の認識で保育はできてきているが、職員の業務に偏りがあり、出来る事出来ない事の差が多い、内容を見直しローテーションしていく。	保育や運営の見える化を行っている。朝夕の引継ぎの際に伝達漏れ等があり、事務所のホワイトボードやノートを使い、職員間の連携を大事にしながら保育をすすめる。非常勤参加の会議を継続して実施し、職場全体で保育や情報共有を引き続き行う。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
椅子・机	5歳児用　椅子・机　更新　4月	586千円
おさんぽ車	老朽化により更新　2台　4月	332千円
保育室棚等	1歳児用　棚・パーテーション　更新　4月	461千円

令和3年度　西小岩 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う為、職員一人一人の資質向上に努め、子ども達が保育園生活を安全、安心して過ごせるようする。
更なる働きやすい職場環境等を作るために業務内容の改善や環境を行い、職員が一つのチームとなり、連携を深めながら保育に携われることを重要課題としたい。
新型コロナ感染症対策による対応が図られてきたが、今後も子ども達の育みを大切にした、保育内容となるよう努める。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	27	30	35	36	37	165
運用定員	27	30	31	33	35	156
増 人 数	0	0	4	3	2	9

3. 保育園目標

・健康で明るい子
・意欲と思いやりのある子
・よく見、よく聞き、よく考え、創造性のある子
・最後まで頑張れる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	安全安心した生活が送れるよう、全ての職員が危機管理意識を高める。今後も続くであろう、感染予防対策において、日々の内容を確実に行い、常に意識を持つように心掛ける。 施設老朽化に伴い、破損個所や劣化による不具合が多くなってきているため、定期的なチェックを行う。	通年	職員全体で取り組むことで感染拡大を防ぎ、健康維持を保たれ、怪我や事故の発生を未然に防ぐことができ、安定した生活が送れる。
教育	経験を通して、意欲、知識、身体能力が高められよう、目的を持って計画し実践する。 外部講師については、指導計画の作成や実施内容においては、園側の目的を明確に伝え、主導性を持って進めていく。	通年	計画及び指導内容が園側の主導的に進めるこで、保育内容に準じた活動を展開することができる。
子育て支援	来園での「子育てひろば」が実施できない状況では、子育て情報発信の方法や電話相談など間接的な援助方法を実施、地域の子育て支援へと繋げていく。 今後、状況を見据え、感染予防を徹底した上での実施に向けた検討を行っていく。	通年	安全面重視により、在宅時間が多くなることでの孤立感を軽減し、育児に対する情報を伝えることができる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員関係は良好であり、異動職員や新規採用職員が加わった中でも連携が図られている。クラスリーダーは担当職員、主任保育士はリーダー及び職員全体をまとめており、日々の業務を円滑に行うことができている。しかし、自己判断による実施について報告がなく、差異が生じてしまう場合がある。	保育園運営においては職員間の連携や人間関係が重要であり、職員一人一人が個人を認め合い、意見を出し合いながら実施に向けた検討を深めていく。又、保育士の人員配置については、決められた配置人数での業務内容を見直し、円滑な運営を目指していく。

6. 、　(50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
1歳児保育室	床暖房	¥5,000

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

令和3年度　　松江 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

子ども達が安心と信頼をもって園生活をおくれること、子どもの主体としての思いや願いを受け止めた保育を行っていきたい。
職員間の日々の対話を大切にし、様々な対話が生まれる職場環境を目指したい。
職場の雰囲気が保育の質につながり、子どもを丁寧に見守る環境が生まれると考える。保護者には、子どもの姿を多面的に伝え、会話する機会をもちながら、園と保護者が一緒になって子どもを育てるという意識が高まるようにしていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	17	20	25	27	27	116
運用定員	19	22	24	24	24	113
増 人 数	-2	-2	1	3	3	3

3. 保育園目標

・心も身体も健康な子
・友達と楽しく遊べる子
・自分を表現でき、仲間と共感できる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	基本的な生活習慣の自立と、それに伴い安定した生活リズムを身に付け情緒の安定や意欲的な活動を支えていく。 一人一人の関わりのなかで欲求や要求を優しく受け止めていくことで、大人への信頼関係が生まれ自信や自己肯定感を育んでいく。	通年	子どもの「やりたい」気持ちが育ち自然にリズムを作っていけるようになる。 自分がやりたいことに向けて考えを巡らしたり、行動したりすることができ充実感を得る。
教育	発展的、共同的な遊びを大切にし、子ども達の中にどういう心情や意欲、そして態度が育っているのかを見極めながら、遊びや活動が深まっていくようにする。 子ども同士の関りの中で相手の気持ちを分かろうとしたり、遊びや生活をよりよくしていこうとしたりする姿を丁寧に捉え、認め、励ましていき子どもの道徳性、規範意識の芽生えを育んでいく。	通年	自分の行動を振り返ったり、友達の気持に共感したりし相手の立場になって行動するようになる。自分の気持を調整し友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり守ったりするようになる。
子育て支援	保護者一人一人を尊重し、ありのままを受け止め敬意をもってより深く保護者を理解していく。また、守秘義務を前提としつつ保護者を受容し、保護者自らが選択、決定していくことを支援していく。日常の会話を大切にし、園での様子を写真や文書で知らせ、子どもの育ちを家庭と共有し一緒に支援していく。	通年	写真等を通し、保育の様子が伝わり保護者との対話も増えてくる。また、園と保護者が一緒になって子どもを育てるという意識が高まる。 保護者との信頼関係が構築される。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員が数名入れ替わり、新しい風が入り良い刺激となっている。新人職員に対しても先輩職員が対応し不安のないように配慮している。各クラスの様子を伝え合い非常勤を含め全体で周知し困った対応に対して皆で意見を出し合い良い雰囲気で保育を進めている。保護者会の協力もあり園を支えてくれている。	職員間の会話を大切にし、引き続きそれぞれが意見を出し合える雰囲気作りに努めていく。保育力の強化として、子どもへの声のかけ方、保護者との会話術などが弱く、園内研修などで学べる機会を作る。副主任、クラスリーダーが積極的に行動し、保育を進めていけるよう配慮し環境を整えていく。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
事務所棟	空調機更新工事(3か所)	¥2,222
各保育室・トイレ	換気扇更新工事	¥627

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

令和3年度　　松本 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

法人の1園として、法人の理念である「養護」「教育」「子育て支援」を柱に、子ども達の笑顔、保護者の笑顔、保育士の笑顔を守ることを念頭に置き運営をしていく。
新型コロナ感染症対策が最も重要課題になる一年になるかと思うが、同時により良い保育を行う為、多様な考えを持つ人材を大切に、指導よりも援助、教えるよりも聞く姿勢を大切に人材の育成を行う。
互いに思いやりを持ち、認め認められて生き生きと働く職場で保育が楽しい、子どもは本当にかわいい、保護者にも子どもの姿を伝えたいという熱意溢れる職員集団になりたい。そして全ての子どもの健やかな育ちを実現できるような取り組みをすすめて保育を実施していく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	18	26	30	31	31	136
運用定員	18	26	29	30	31	134
増 人 数	0	0	1	1	0	2

3. 保育園目標

心もからだも元気な子
・自分の気持ちを素直に表現でき、思いやりの持てる子
・話をよく聞き、何事もよく見て、よく考える子
・意欲的に取り組み最後まで頑張る子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	安全で快適な環境のもと、子どもの気持ちをしっかり受け止め安定した生活になるよう努める。 生活の場を整え一人一人のペース、習慣を大切に意欲的に過ごせるようにする。 温かく見守り愛情豊かな保育士の関わりを心がける。	通年	意欲的で安定した生活を子どもが心地よく過ごす。 安定した子どもの様子に保護者と信頼関係が構築される。
教育	発達に即した子ども主体の生活と遊びの中から健康な心と体を育てる。 興味、関心に即した玩具、絵本、遊具など用いて遊びを豊かに膨らませる。 成長に合わせた運動遊び、リズム遊びを取り入れる。 一人一人を生かし自己を発揮できるような集団を形成する。	通年	十分に動かした体と心は調和のとれた発達をしていく。
子育て支援	子育ての喜びや大変さを分かち合い、子どもの成長を一緒に見守る。 日常の保育に関連した様々な機会をとらえ、相互理解を深める。 一人一人の保護者の状況に配慮して、個別の支援を心がける。 地域の子育て家庭と繋がり、地域関係機関とも積極的に連携を図る。	通年	保育園の特性を活かし、保育園を利用する保護者、地域の保護者と共に子どもの育ちをみんなで支える視点を持ち支援する。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
強みとして、清潔で整った環境と、明るく助け合う職員の環境風土。保育向上への意欲や柔軟な心もち 弱みとして、保育実践の言語化、地域への発信、安全面への対応。保護者への保育内容の見える化やアプローチ、相手の立場に立った支援	計画的に環境整備をし、こまめに清掃をし衛生的に保つ。 働きやすい職場を自ら作り出し、保育の向上へ意欲的に行動する。 保護者の気持ちを慮り支援し、掲示や配布物に工夫をして理解を深めていく。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
保育室	空調設備設置　老朽化による更新	¥880

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
絵本	定期的に年齢と季節に合わせ購入　新規	¥180

令和3年度　　清新 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

一人一人が自覚と責任をもって仕事に取組み、自主的に考えたり行動したりできる環境を整えると共に、職員が思いやりの気持ちを持ち、笑顔とやりがいが持てる風通しの良い職場環境を作る。子たちのやりたい気持ちを引き出す保育を考え、与えるのではなく一緒に考え保育を行える職員育成をする。
主任、副主任を中心に、それぞれの特性を生かせる研修や会議を行い、学ぶことが楽しくなるように子どもの育ちを語りあえる関係づくりをする。
子どもの育ちを保護者と共有することで、保育園だけではなく家庭も一緒に様々な行事の取り組みを行っていく。地震や水害などの様々な災害に対してもみんなで考え命を守る行動できるよう訓練していく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20	23	28	29	29	129
運用定員	24	26	28	28	28	134
増 人 数	4	3	0	−1	−1	5

3. 保育園目標

・元気でのびのび遊ぶ子
・よく見・よく聞き・よく考える子
・友達を大切にし、思いやりのある子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	丁寧に一人一人に関り寄り添い保育を行い、成長にあった玩具、環境の提供をする。情緒の安定を図る事、友達に思いやりの気持ち持ち、助け合いが出来る言葉かけや関りを行う。 危機管理意識を高め、感染症、BCPの見直し、ヒヤリハットの活用をし子どもたちが安全に過ごせるようにする。	通年	丁寧に関わることで情緒が安定し自己肯定感も高まる。成長に必要な玩具を提供することで、発達を促す。危機管理意識を高めることで、様々な対応が出来る。
教育	発達に合わせた運動や活動を行い、転んでもケガをしない身体作りをしていく。様々な遊びの中から学び、見つけられるように、子どもたちの発信を受け、遊びが発展していけるような環境作りやコーナー遊びを充実させる。講師との連携を深め、日々の保育になかに積極的に取り入る。	通年	小さな怪我をすることで、大きなけがを回避できる身体作りができる。遊びの中から学ぶことで、考えたり工夫したりする機会が増え、活動を自主的に行うようになる。
子育て支援	保護者の子育て知識の未熟さを感じている。様々な家庭環境がある中、保護者の悩みに寄り添い子育ての楽しさや充実感を感じてもらえるような関係づくりをする。 子育て支援の内容を充実させ、年齢に応じた遊びやおもちゃの提供が出来るようにする。 関係機関との連携を深め、障碍児、虐待等の家庭の状況を理解し寄り添っていく。	通年	悩みを抱える保護者が子育てに自信を持ち、楽しいと感じられる事で、保護者自身の自己肯定感が上がり子どもの自己肯定感が上がる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
決まっている事は、きちんと実行し、協力する関係がある。 近隣の保育園と情報を交換し、交流することができる。 保育をみんなで考え、アイデイアを出し合って新しい事に挑戦することが難しい。	全保育士が話し合い、実行する体制を継続していくと共に、新しい事に挑戦し、意見を出し合い、出来る環境を整えていく。近隣の保育園と交流できる機会を多く作っていく。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
机(1～2歳)	劣化のため、新規(4月)	¥280
椅子(3～4歳)	劣化のため、新規(4月)	¥370

令和3年度　小松川 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

子ども達の欲求が満たされ、意欲に繋がるよう、環境設定や活動内容を考慮したい。
子どもにとって保育園が、新しい発見が出来る場所、イメージしたことを実現できる場所となるよう、どのような援助をしたら良いか職員間で話合い、共有したい。
活動のねらいに関して、概念にとらわれず目の前の子どもの年齢や個々の状態に合ったものか実際に行いながら、見直し改善していきたい。
園内研修を通して、保育についてお互いの思いや、考えを伝える場が出来た。職員の「してみたいこと」の実現に向け協力し合いながら、保育士自身も保育の楽しさを感じて欲しい。　又、地域の中の保育園として、在園児だけでなく卒園児や地域の方と言葉を交わしながら一緒に子どもたちを見守っていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	24	25	27	27	26	129
運用定員	26	26	27	27	26	132
増 人 数	-2	-1	0	0	0	-3

3. 保育園目標

・心も体も健やかな子
・思いやりのある子
・自分に自信の持てる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	手洗い、うがい等基本的な習慣を身に付け、感染症の予防に努める。又、遊びや食事を通して、健康な身体づくりをする。 一人ひとりの生活状況や、心の変化を考慮し、安心して過ごす事が出来るように声を掛け、気持ちを受け止める。	通年	望ましい生活習慣が身に付く。 心身の健康を獲得し、積極的に活動する。 自分の思いを受け入れられる事で、保育士との信頼関係を構築し、安心して過ごす。
教育	遊びを通して経験した事を活かし、挑戦したりする意欲が持てるように環境を整え、援助する。 人との関わりに親しみを持ち、相手の思いに気付いたり、自分の気持ちを調整しようとしたりする。	通年	物事に対し、積極的になる。達成感を感じる事で次への意欲に繋がっていく。 相手の気持ちを尊重し、自分自身も大切にするようになる。
子育て支援	保護者に保育園の様子が伝わるように工夫する。 地域の特徴として外国籍の家庭が多いが、安心して子育て出来るように丁寧に説明したり、保護者の目線で考慮し援助する。	通年 入園時から通年	子どもや園での活動に関心を持ち、子育てを楽しむ。 不安の軽減。 保育園を拠点としたコミュニティの広がり。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
自然豊かな立地を生かした保育の継続。 経験を重ねる中で、少しずつ視野が広がってきている。又、保育の仕方に違いはあるが、それぞれの思いを認める姿勢が伺える。保育内容において、個々の姿を捉えたねらいになっているか、保育士の援助と共に、見直す必要性を感じる。	自然の中で伸び伸びと身体を動かし、心身の健やかな成長を育む。 保育において、相手の考えを認めながら自分の考えも伝え、協力しながらより良い活動や援助の方法を見出していく。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
避難車	4月　老朽化による更新	¥300
3歳児椅子	5月　クラスの椅子の更新	¥400

令和3年度　南葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

新型コロナウィル感染症対応をきっかけに、園生活の見直しをで行い、話し合いの場を設けた。予防に努めながら、これまでの生活を振り返り、子ども達にとっての保育を見直す機会となっている。全職員が子ども一人一人に寄り添い、子ども達の生活リズムに目を向け、情緒が安定した生活に配慮しながら、子ども自らが関わりたくなるような、環境設定を行い、子ども同士、保育士のやり取りを大切にした保育を目指し、新しい生活様式に沿いながら、新たに作り上げていきたい。
その為には職員の共通理解に重点を置き、対話を通して情報を共有、見える化しながら、子ども、保護者、職員が安全・安心であり心繋がる園としていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	16	23	25	27	27	118
運用定員	18	23	24	25	25	115
増 人 数	-2	0	1	2	2	3

3. 保育園目標

・ありがとうのこころ
・かんじるこころ
・やってみようのこころ

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	一人一人との思いや行動に丁寧に寄り添い、受け入れ、認めながら情緒の安定の図り、子ども達にとって、何が良いのかを配慮した生活を心掛ける。 子ども同士や、保育士とのやり取りを大切にしながら、体験する出来事を保障し、自発的、意欲的に関わることが出来る環境を作る。	通年	丁寧に向き合うことで情緒が安定し、自発的、意欲的な生活へと繋がる。発達を捉える機会となり、発達に応じた環境の設定に繋がり安全で安心できる生活を送ることが出来る。
教育	遊びの体験を通して、自らの気付きを大切にし、認め、主体的に遊び込める環境設定に心掛ける。日常的、継続的な遊びの中で、子ども同士や保育士とのやり取りを楽しみながら、人に関心を持ち、労りや思いやりの心を育む。自然に触れる体験を通して学びや意欲、好奇心を育む。	通年	自由な発想、創造性、遊びの意欲、人との関わりを通し、信頼関係を作り、安心、自発的に関わろうとする思いが育まれる。また、子どもの様々な反応を通して学びの捉え方の発見に繋がる。
子育て支援	保護者の見えない不安に対して見える化を意識しホームページや園だより等発信を増やし、子どもの姿を見て成長を共感できる機会、園での様子を伝えながら日常の子育ての不安に答えていく。また、子育て情報誌の充実を図り、地域へもHPを活用し子育て情報の発信を行いながら、園を知って頂く機会を作っていく。	通年	園の情報発信の場となり、子ども、園への理解と繋がる。園での様子を共有できる。地域で子育てに孤立している方への情報発信となり、園の事を知る機会となる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員間での関係の良さが園児や保護者への安心感となり強みとなっている。職員同士で情報の共有がされ、子どもへの関わり等でも連携を持ち共通理解の基、保育を進めている。その一方、慣れから相手の、過信や思い込み等による保育の見落としが見られ、危機管理の徹底と再確認が必要になっている。	互いを知る存在としての関係の良さは、引き続き大切にしていきたい。保育を学ぶ姿勢を持ちながら情報の共有に努め、正しい知識の習得、突然の出来事に対応できる知識を身に付けていきたい。その為にも、園内研修や情報の習得に心掛け共有する機会を多く設けていきたい。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
1歳テラス前柵	柵取り換え工事　6月実施	¥2,200

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
避難車	劣化による更新　4月	¥190

令和3年度　西葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

子ども達の自分らしさを大切に豊かな体験を通し、夢中になって遊べる保育環境を工夫し、自ら育とうとする力を支援していきたい(遊びの中で育つ保育)。
各家庭と子どもの育ちを共有し、成長を共に喜び、繋がりを大事にしたい。子ども達にとって日々の生活の積み重ねが大切と同様に、保育士にとっても日常の保育の積み重ねが、学びの土壌となるようにしたい。令和2年度の第三者評価の結果を基に、働きやすく働き続けたいと思える職場づくりに向けて取り組む。
地域とのかかわりを通じ、地域に根ざし愛される保育園を目指したい。新型コロナウイルス感染防止を図りながらも、子どもを中心とした活動を大事にし、情報の収集と共有、保護者の理解と協力を得ながら全職員で引き続き取り組んで行く。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	25	26	27	30	30	138
運用定員	25	26	27	30	30	138
増 人 数	0	0	0	0	0	0

3. 保育園目標

・こころも身体も しなやかで健康な子
・自分を表現でき、仲間と共感できる子
・チャレンジできる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	一人一人が笑顔で安心して過ごせる環境を大切にし、安全で健やかな生活を心掛ける。 子どもの思いや欲求を受けとめ様々な感情を共感し、その思いに丁寧に寄り添う。 遊びを通して体力づくりに取り組む。 感染症防止を踏まえた「新しい日常」への取り組みと様々な災害を想定した避難訓練。	通年	安心感や保育士との信頼関係が出来る。 心が満ち足りる(幸福感)、チャレンジする気持ちが育つ。 健康、命の大切さを知る。
教育	豊かな体験、遊びが育つ保育(夢中になって遊べる工夫)。 面白いと感じた遊びや驚きの発見、感動した出来事や栽培、飼育を通して成長を見守る。	通年	遊びの発想が膨らむ。 意欲的な取り組み。 自分らしさを育む。
子育て支援	保護者の思いに耳を傾け寄り添いながら、其々の子育てと就労の両立を支援する。 降園時にその日の子どもの様子をしっかり伝える。 感染症対策を講じながら地域の中で保育園としての関わりを図る。	通年	信頼関係、養育力の向上。 地域との関係作りが出来る。 育児不安の軽減につながる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
子ども達の思いを受けとめ、日々の生活の積み重ねを大切にしている。リーダー層を中心にアイディアが出せるようになった。経験年数が少ない職員や自信が持てない職員がいる中、中堅層の存在が大きい。体制が厳しくなると人間関係もぎくしゃくしてしまう。休憩・休暇・保育体制については工夫と改善が必要と感じる。	日々の生活の積み重ねを大切にする保育、豊かな体験は継続していきたい。令和2年度の第三者評価の結果を踏まえ、送迎時のコミュニケーション(特に、降園時の子どもの様子を伝える等)、丁寧な対応と園の有り様が保護者にしっかり伝わる様な工夫(保育園の見える化)、職場環境の改善が課題。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
冷蔵庫	厨房の冷蔵庫	¥550

令和3年度　　中葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

感染症の収束が見えない中ではあるが、子どもたちが伸び伸びと過ごし、主体的に活動出来るよう考えたい。生活の中に制限を設けることも必要だが、「子どもにとってどうなのか」を考えると矛盾や葛藤がある。感染対策を最大限に行いながら、安心できる環境を用意し、保育園としての役割を工夫しながら進めていきたい。出来ないことが増えた分、「子どもにとって何が大切か」「保護者にどのように伝えるか」など深く考える良い機会となった。行事の目的を前提に保育の内容が行事中心の生活になっていないか等、職員と確認しながら進めたい。職員同士の声の掛け合い等、和が広がっている。自分のクラスだけでなく、お互い様で助け合えるような環境にするためにも声を出せる、耳を傾ける、認め合える、保育が楽しい環境で仕事に臨めるようにしたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	27	28	28	28	28	139
運用定員	27	27	28	28	28	138
増 人 数	0	1	0	0	0	1

3. 保育園目標

・元気に仲良く遊ぶ子
・思いやりのある優しい子
・自分の思いや考えを表現できる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	感染症対策を念頭に、保育園で出来る最大限の事を考え環境設定を行う。保育者との信頼関係の中、一人一人を大切にし、安心して過ごせるよう情緒の安定を図る。子どもの気持ちを受け止め、個々の思いに共感し自信を持って生活できる環境を整える。危機管理意識を常に持ち、必要な修繕等計画、実施する。水害・台風等BCPの見直しと共有。	通年	安心と安全。 信頼関係・情緒の安定・主体的な活動。 安全管理・事故、感染症予防。
教育	行事の意味を見直し、子どもにとってどうなのかを確認する。子どもにとって主体的な活動となるような働きかけを意識し、職員間で共通理解を深める。 運動、リズム遊びを通し、柔軟性や体幹を意識し五感を使って全身の刺激を感じ表現する。 異年齢児との関りは難しいが意識できるような環境作りをする。	通年	保育内容の精査。 主体性のある遊び、行動。 基礎体力の向上、感情表現。 優しさ、思いやり。
子育て支援	保護者の声に耳を傾け、気持ちに寄り添い、思いを受け止め専門性を生かした支援をする。 専門機関との連携を深め、障がい、虐待等家庭の状況や気持ちに寄り添い支援する。 友だち関係、行事の取り組み方など子どもの成長を見据え大切にしているポイントを伝える。	通年	信頼関係、育児不安の軽減。 子どもの安全・情緒の安定、不安解消。 園で大切にしている保育の考えを理解してもらう。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
職員間で話し合い共有して進もうとする気持ちがある。昨年に比べると若い職員の意見も聞かれ、自ら考え行動する姿もあり嬉しく思う。先輩職員も意見を受け入れ、尊重しているので意見が出しやすい。それぞれの立場や役割を自覚し、共に成長できる環境にある。	会議や月反省等が型にはまった形で進む。方法を改善し、全員で子どもの姿を今まで以上に話し合い、その状況に合わせて行事や月案などに反映できるよう共有したい。遊び心を持ち、他クラスに興味を持つことが課題であり、現状に満足せず、共有することで成長の見通しを持った保育内容にする。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
壁紙	各部屋の壁紙修繕　年度初	¥300

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
ソフトタッチマット	2歳児保育室　マット　新規　年度初	¥150

令和3年度　　松島 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

子どもや保護者、職員にとって居心地が良く、笑顔になれる保育園を目指していきたい。
園目標や保育方針等、向かう方向性を管理者が示し、その目的に向かって皆で考え進んでいく環境を整えていく。保育士が保育について楽しく語り合い、共に学び、実践に繋がるよう、援助したり環境を整えスキル向上を目指す。
子ども一人一人の育ちや家庭環境に合わせ、子どもや保護者の気持ちに寄り添える保育士。
職員とのコミュニケーションを大切にし、職員同士の良好な関係作り、雰囲気の良い職場作りに努め、保育の楽しさや仕事への意欲に繋げていく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	19	21	25	26	26	117
運用定員	18	19	22	25	26	110
増 人 数	1	2	3	1	0	7

3. 保育園目標

・心身ともに健康な子
・思いやりや感謝の気持ちが持てる子
・よく見てよく聞きよく考え行動できる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	子ども一人一人の発達や育ちを把握・理解し、子どもの気持ちや行動を愛情をもって受けとめ、丁寧に関わっていくことで安心した生活を送り、自己肯定感を育む。 危機管理意識を高める。ヒヤリハットを職員間で共有し安心・安全な保育について話し合う。 又、新型コロナウイルスを含む様々な感染症拡大防止への意識を高めていく。	通年	安心して生活することで情緒が安定し、自信を持って様々な取り組みに挑戦できる。 怪我・事故・感染症等に対する危機意識の向上により、安全な環境になる。
教育	子どもの自発的な行動や興味、関心を受けとめた計画を立て、子どもが主体的に遊べる環境を整え遊びの充実を図る。 専門講師の活動は保育士と講師が話し合い連携を取りながら進める。又専門講師活動や行事が日々の保育と繋がり、連続性のあるものとなるようにする。	通年	子ども主体の保育を意識して行い、意欲や達成感が育つ。専門講師活動の理解が深まると共に、連続した保育が子どもにとって無理のない安定した活動に繋がる。
子育て支援	保護者の思いを知り、寄り添い、保護者への理解を深める。様々な家庭の状況を把握し、必要な支援を行いながら連携し、子どもの成長を共に喜び合える関係作りをする。 地域へ保育園の情報発信したり、子育てひろばや園行事、避難訓練等に参加して頂くことで、子育て支援の拠点として身近に保育園を感じてもらえるようにする。	通年	子ども・保護者との信頼関係が深まる。子育て等の相談がしやすくなり、保護者の安心感に繋がる。 地域と繋がり、子育てへの安心感となる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
建物の構造上、全体を見渡すことが出来、他クラスの様子が一目でわかりやすい。一人一人が大らかで自信を持って保育をしているが、丁寧な話し合いに欠ける面がある。相手を思いやる気持ちから意見が出にくく、報告・連絡・相談も少ないと感じる。クラス間の保育の調整、指導ができるリーダー層の育成が必要。	職員の大らかな雰囲気は大切にしつつ、保育力向上に必要な話し合い、情報共有はしっかりと行えるように会議や園内研修の充実を図る。考えや意見等が話しやすい雰囲気を作り小さな事でも話し合いを重ねることで、職員の気持ちが一つになりチーム力を高められるように取り組んでいく。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
1歳児保育室	床の段差修復	¥1,000

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
砂場遊具棚	雨風による劣化を防ぐ為購入	¥170
テント	運動会等日よけ対策	¥300

令和3年度　清新第二 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

保育目標を基本とし安心・安全・信頼・協力のもと、心のこもった保育を進め、新型コロナウイルス感染防止対策での「新しい生活様式」に沿った中で「できないのではなく、出来る為に、どのようにしたら出来るようになるのか」を考え、前向きなアイディア溢れる保育や行事等を考えて進めていく。
保育制度の動向を見据え、人材確保と収支のバランスを考え運営を進めていくと同時に、防災・防犯・情報漏洩・感染症に備え、地域と関りを持った子育て支援施設としての役割をも進めていく。
職員が不安や迷いが生じないよう具体的な成果等を認め、園長としてのリーダーシップと判断及び決断力を発揮していく。職員の保育の質の向上。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	22	23	23	23	23	114
運用定員	22	23	22	21	21	109
増人数	0	0	1	2	2	5

3. 保育園目標

・元気に遊ぶ子。
・思いやりのある子。
・よく見て、よく聞いて、よく考える子。
・最後まで頑張る子。・自分に自信が持てる子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	新型コロナウイルス感染防止のため新しい生活様式に沿って安心して遊べる環境の設定やヒヤハットを活用し、事故防止に努めると共に感染症の意識を高め集団感染とならぬ様努める。 子ども一人一人の発達に合わせた保育を進めていくと共に、様々な体験を通して、五感を刺激した感性が育む保育を進めていく。	通年	感性や想像力を養う。 怪我や事故、感染症に対する職員の意識向上と怪我や事故、集団感染の減少。
教育	体力向上に努めると共に、何事にも諦めずに粘り強く行う気持や出来た喜び、達成感、相手を思いやる気持ちや協調性といった精神面の強化を行い、自信につなげる。 挨拶の徹底とやるべき時と遊ぶべき時のメリハリのある保育を進めていく。 英語遊び等を通して異文化に触れ国際感覚が養われるように進めていく。	通年	体力の向上と精神面の強化、社会性や相手を思いやる気持ちを養う。
子育て支援	子育て家庭のニーズと地域の実情把握に努め、他機関との連携及び相談や援助を行うと共に、魅力のある開かれた施設として進めていく。	通年	子育て施設としての役割を行い、入園希望の増加に繋げる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
強みとして園舎が「緑道」に面しているため、四季折々の季節感を感じ、散歩など車両の往来が少ない。また、水害の際には避難地域となっている。 弱みとしては伝達事項や保育、行事等の趣旨など各職員へ伝わりにくい。	全職員が一同に話し合う場を設け、事故やケガ、感染症、防災防犯への危機感、保護者との会話術や文章力の向上、保育技術等についての共通認識を持ち保育を進めていく。「目配り、気配り、心配り」と「子どもの事を第一に考えた職員」であって欲しいと考える。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
ゴミ集積保管庫	4月	¥250
園児用収納棚	4月	¥250

令和3年度　北小岩 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

コロナ禍の為、行事が縮小され、今までにない変化があった1年が終わり、今後組織作りを立て直していく必要がある。色々と見直すこと必要がある中で、将来的に見据えた計画を立てていく事が大切であり、この状況が、いつまで続くか来年度も万全を期して拡大を、防ぐよう、職員が感染しないまた移さないを一丸となって、実行していきたい。
感染症をはじめとし、地震、火災、水害等、保育園から保護者に連絡をする体制を、すぐメールなどで発信し知らせるようになり、緊急事態下でのあり方を考察していく。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	15	23	25	25	26	114
運用定員	15	25	23	24	25	112
増 人 数	0	-2	2	1	1	2

3. 保育園目標

- 明るく元気に遊ぶ子ども
- 思いやりのある優しい子ども
- 感性豊かで意欲のある子ども
- よく見て、よく聞いて、よく考えて行動する子ども

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	乳児保育を原点として、基本となるよりきめ細やかな保育を園全体で考えながら、幼児クラスそして、就学へと発展させいく。職員は、保育の技術を研鑽するため、研修を積む大切さを十分に理解する。	通年	乳児保育から幼児保育、そして就学までの流れを 改めて職員が見直す事が出来る。
教育	月2回、講師を入れた体育遊びを実施、子ども達も、身体を動かす事に以前よりも興味をもち、特に、鉄棒運動、マット運動、縄跳び、上達し、体幹能力が発達出来る。 健康面として、感染症に罹る事も少なく、今後も継続していきたい。成果を評価するのだけではなく、一人一人の成長や発達を認め、自己肯定感や自信に繋げていきたい。	通年	講師より、アドバイスを受けることで、上達に結び付いた。又、職員も指導の仕方を見ることでよく理解できる。
子育て支援	コロナ禍の影響で、子育てひろばも、実施出来ず近隣小学校との連携もないことの無いようにする。 子育て支援ということで、自粛期間も長く家庭で過ごすことが多かったので、子どもたちに対する虐待等が無いよう、保護者の声に耳を傾け、ストレスがたまらないように支援する。	通年	コロナの影響がいつまで続くのか、予想がつかないが、子育てひろばが再開するまでは、各家庭の保護者との連携を今迄以上に大切にしたい。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
異動や離職で入れ替えが少なく、職員が互いの性格をよく把握出来ている事でチームワークが良いことが強みである。逆にこの体制に慣れてしまい、担任が休暇にはいったり、突然の休みを取ると、補助が必要と要求する。	人員的に、このメンバーとして継続していければと思うが、他のおひさま保育園も経験して実際に現状を把握して色々な保育を学んでほしいと思う。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
鍵付きキャビネット	新学期　書類整理のため新規	¥100
園庭用倉庫	新学期　破損しているため更新	¥150
プールカバー	9月　　破損しているため更新	¥100

令和3年度　南篠崎 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

開園し4年目を迎え、コロナウィルス感染症により新しい生活様式の取り組みを行う中で、引き続き状況を把握し保育園での子ども達、職員共に安全、安心ができる環境で保育を進めることが課題になると感じている。令和2年度を反省し、出来なかったことを引き続き計画に盛り込み進めていきたい。
感染症予防については保育園、職員、保護者が一体となり、予防に努め協力することが必要であり、同じ気持ちが持てるように常に働きかけていく。
保育園に係るすべての人が、笑顔と共にやさしさと温かみのある中で保育を進め、また明日も来たい保育園になるよう、共に協力しあい気持ちも受け止めていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20	23	24	24	24	115
運用定員	20	23	23	23	24	113
増 人 数	0	0	1	1	0	2

3. 保育園目標

・元気に遊べる子
・心豊かな子
・考えて行動する子

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	園目標、保育方針、子どもの人権等に関する条例などを確認、学びあい一人一人に愛情をもって接していく。 子どもが欲求が十分に満たされ安心、安全な環境の中で健康に過ごしながら、自己肯定感が育まれるような関りや言葉がけを丁寧に行う。	通年	職員が共通認識を持ち、個々応じた必要な援助等を丁寧にすることで、子どもとの愛着関係が深まり、成長に必要な環境構成を整え、安心して過ごすことができる。
教育	子ども達のやりたい気持ちを大切にし、子ども主体の保育ができるよう取り組む中、様々な経験を行い楽しさ等が十分に味わえるようにする。 一人一人の発達を踏まえ、十分に身体を動かせるような活動や、五感を刺激できるような活動を取り入れ、心身の発育、発達に繋げていく。	通年	様々な経験や体験をする事で、子ども、職員共に自分で考え、工夫しようととする気持ちが育まれていく。そうすることで、子どもの心身発達、成長に繋がる。
子育て支援	各家庭の状況を把握し、保護者と共に子育ての楽しさや悩みを共有し、子どもの育ちに気付き、見守り、共に喜び合えるように努める。 ホームページ、ブログ、掲示板等の活用しながら就学前家庭や地域の方に保育園の様子を知ってもらい、地域に根差した保育園を目指す。	通年	子ども一人一人に向き合うことを大切にし、保護者との気持ちに寄り添いながら、園での子どもの姿を丁寧に伝え、信頼関係が深まり相互の理解が深まる。入園希望や施設見学に繋がる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
子ども達を、全職員で見守るという気持ちを常に意識し、保育を進め、職員同士が協力し合えることは強みである。反面、様々なことに十分に話し合いを行ったり、自分自身で考えながら保育を工夫する力に個人差があると感じる。	個々の申し送りを引き続き丁寧に行い、子ども、保護者との信頼関係を丁寧に築き上げる。職員同士も個々を認め合いながら役職、中堅職員を中心に園内研修等を行い保育の資質向上に努める。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
各保育室	扇風機　老朽化の為更新、 5月	¥140
事務所	書庫、掲示板設置　 5月	¥550

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
園内放送用アンプ	老朽化　更新　 4月	¥190
園児用テーブル等	1歳児　老朽化　更新　 4月	¥600

令和3年度　　新田 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

令和2年度は、コロナ禍で新しい生活様式の中での保育となり、保育や働き方などを見直す機会ともなった。保育の中では、行事をどのように進めるかが、一番大きな課題であり、中止せざる得ない行事もあったが、出来る方法を見つけ取り組み、新たに加えた取り組みもあった。その都度、職員が知恵を出し合えたことはとても良かった。また、異年齢児との交流が出来ない点、保護者に保育を伝える方法に課題が残った。
終息はまだ見えないため、保護者にも見える保育、伝える保育の取り組みを考えていきたい。緊急事態宣言が発令され園児の登園数が減った時期に職員同士話す時間が増え、チームワークが深まったように感じている。一人一人の力が集結し園の力になる実感が持てる関係を築いていきたい。

2. 定員

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	18	20	20	20	20	98
運用定員	20	20	20	20	20	100
増 人 数	-2	0	0	0	0	-2

3. 保育園目標

・ありがとうのこころ
・かんじるこころ
・やってみようのこころ

4.内容と効果

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	子ども一人一人の声をしっかり聴きとり、園目標を感じることが出来る、心に響く保育を展開していく。職員が考えた園の当たり前基準を徹底し、「命を預かる」という危機管理意識を高めていく。	通年	子ども達が主役となり、充実感を持って生活することが、保護者の安心感に繋がる。 園基準の徹底が、保護者との信頼関係に繋がる。
教育	身体機能の発育や学びの多い園生活を送れるよう、専門講師の運動遊びを引き続き取り入れる。また、子ども達の遊びが広がる環境設定を整え、保育プランを提案していく。	通年	子ども達が学ぶことの楽しさを味わい、生活や遊びを意欲的に行う。
子育て支援	発達支援コーディネーターの資格を持つ職員を中心に園内研修を行い、保護者に寄り添った支援が出来るようにする。	通年	保護者と、子どもの成長を共感し合うことで、子どもも保護者も満たされた生活が送れる。

5. 保育園、職員の強みと弱み 継続と改善

保育園の強みと弱み	継続と改善
コロナ禍で行事などがなくなったことで、保護者との交流の機会が減り、園の取り組みや保育を伝えにくくなった点は弱みである。また、慌ただしい日々から少しゆとりのある日々に変わり職員間のチームワークが深まってきたことは強みである。	園の取り組みを、保護者に理解していただける新たな形を職員と考え、チャレンジしていきたい。また、職員のチームワークの深まりをマンネリ化させず、更に向上し合える関係を築いていく取り組みをしていきたい。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
園庭門	オートロック工事　夏頃より開始する	¥557
教材庫	男子ロッカー室整備	¥520

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
2歳テーブル、椅子	新規更新　4月	¥632
3歳テーブル、椅子	新規更新　4月	¥705

令和3年度　宇喜田 おひさま保育園　事業計画(案)

1. 管理者の思い

民営化2年目に入り、職員のチームワークをさらに強固なものにする。また法人の理念と保育目標を基本とし、子ども達が主体的に活動し、十分に遊ぶ込める環境の設定を見直し、職員が子どもとしっかり向き合い、一人一人の気持ちを受け止める。そのために、職員が楽しく保育が出来る様、様々な声を吸い上げ、共に保育を考えて創り出せるよう、個々の特性を生かし、互いに思いやりの気持ちを大切に、知恵と工夫を織り交ぜながら、子どもが主役である保育を進める。
安心・安全・安定的な保育園運営が出来る様、常に周りの動向を見据え、災害や感染症などのリスクと向き合い、管理者として、子ども、職員の命を守ることを常に考え、運営をしていく。地域に愛され地域に根づく、保育園であってほしい。

3. 保育園目標

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	17	19	25	27	27	115
運用定員	17	21	25	25	25	113
増 人 数	0	-2	0	2	2	2

・心も身体も元気な子
・想像力豊かな子
・友達と仲良く遊ぶ子
・よく見て聞いて考える子

4.内容と効果

心

	ねらいと具体的な内容	時　期	期待される効果
養護	一人一人の子どもの気持ちを受け止め、しっかりと向き合い、認めることにより自己肯定感を育めるような関りがふさわしく、より豊かなものであるようにする。 発達に応じた生活習慣の自立をめざし、よく遊び・よく食べ・よく眠り心も身体も元気な子を育てる。	通年	子どもの人権を尊重することにより、安心して伸び伸びと生活でき、心身共に、健全な育成が期待できる。また、子どもの発達を知るために、職員が自発的に取り組むことが期待できる。
教育	生活や遊びの中で育つ主体性を重んじ、その積み重ねや様々な経験・体験が学びの場となるようにする。自然物を大切に本物に触れる機会を多く持ち、子どもの「やってみたい」の気持ちを大切にする。異文化に触れる経験を増やせるよう検討する。また引き続き体幹を鍛えられるように運動遊びやリズム遊びを継続的に取り入れる。	通年	子どもが主体的に生活したり遊びこめるような保育室や園庭であるかの環境の見直しをしたり様々な体験や経験が出来る様に戸外遊びや異文化に触れる機会が増える。
子育て支援	子ども達の日々の出来事を伝え、保護者とのコミュニケーションを大切にすることで、保育園と家庭の双方で子どもの育ちを支え、保護者が子育ての楽しさを感じられるように支援する。 子育てひろばや保育体験を実施し、保育施設の役割を果たすと共に地域に愛される保育園作りをする。	通年	保育園の専門性の発揮と職員の家庭支援のスキルアップに加え、より一層保護者や地域の方のニーズの把握が出来る。

保育園の強みと弱み	継続と改善
第三者評価結果を通して、子どもたちとの関りを深め、丁寧に対応することが出来る。又、職員間の助け合いや横のつながりも自然と出来ていることが強みと感じる。弱みとしては全てにおいて保育園としての発信力が弱いと感じる。 保育計画の着実な遂行と保育所保育指針の意識と定着が必要。	継続の部分では子ども達が夢中で遊びこめるよう、保育士自ら遊び、子どもの小さな気づきに目を向け、子どもの日々の様子を見逃さず、保護者とのコミュニケーションを大切にすることにより、安心・安全・安定的な保育園運営が出来る。改善部分では職員の自発的、自主的な発信を必要とするために改善していく。

6. 施設改修計画 (50万円以上)

場　所	内容(時期等具体的に)	金額(千円)

7. 事業等に係る備品購入計画　(10万円以上)

備品名	内容(時期等具体的に)	金額(千円)
園児用机、椅子	老朽化による取替　2～5歳児(5月)	¥1,600
倉庫	備品収納場所新規(5月)	¥300